

第2回田原市立地適正化計画策定委員会

議事要旨

【日 時】

平成30年11月22日（木）14時00分～15時20分

【場 所】

田原市役所 大会議室（北庁舎1階）

【次 第】

1 議題

(1) 田原市立地適正化計画（案）について

①第1回会議からの修正事項 …… 資料1、参考資料1、参考資料2

②居住誘導区域（設定方針・範囲）について …… 料2、参考資料

2 その他

議事録

1 議題	
(1) 田原市立地適正化計画（案）について	
①第1回会議からの修正事項 …… 資料1、参考資料1、参考資料2	
事務局	資料に基づき説明。
川崎委員	参考資料1の封鎖人口とは？
事務局	出生・死亡のみを考慮した人口のことで、転入・転出は考慮していない。
白井委員	P30に「以後、「社人研」という。」とあり、省略形を使用しているのに、省略形の用語は使わないという説明と矛盾する。
事務局	修正漏れであるので削除する。
会長	参考資料1の5,332人について、なぜ平成26年の住民基本台帳のデータを使用しているのか？
事務局	都市計画マスタープラン策定時のもので、その当時は、平成27年国勢調査データが公表されていなかったため、直近の平成26年住民基本台帳のデータを使用している。
会長	P65の店舗面積についてであるが、前回とは異なって今回は店舗面積のデータを使用したのに、1,000㎡以上の店舗数が変わったということか？
事務局	そのとおりである。
会長	P79のコメントに世帯数に関する記述がないが、P31では世帯数について言及している。世帯数がまだ実際に伸びる推計となっており、だから市街化区域の開発が必要という理屈が成立するので、P79の人口減少のみの記述では開発の必要性はないという理屈になってしまう。そこに考慮して、世帯数に関する記述をする必要があると考える。

事務局	記述していく方向で検討する。
会長	他に質問がないようなので、資料2の説明を事務局から願います。
②居住誘導区域（設定方針・範囲）について …………… 資料2、参考資料	
事務局	資料に基づき説明。
川崎委員	都市計画マスタープランでは「市街地拡大候補地」で、立地適正化計画では「拡大候補区域」となっていてまぎらわしいと思う。別の表現にできないか？ 浸水地域は1m未満の浸水が原則だが、東日本大震災を踏まえると、1m未満という基準はどうか？そこに居住を誘導することが適切か懸念がある。
事務局	福江市街地、田原市街地とも1m未満ということで考えているが、この1m未満は満潮等における最悪の事態での想定値である。1m未満であれば2階へ上がれば助かるといったことも考えられるし、内海側ということで津波の到達までに逃げられる時間もある。既にどちらの市街地にも多くの人住んでおり、併せて都市施設もある。1m未満であれば、今後もまちづくりや開発を進めていく地域で良いと判断をして区域を設定している。 福江市街地の拡大候補区域については、世帯分離者や調整区域の津波浸水想定区域からの誘導を考えている。
川崎委員	分かりました。 区域の名称はどうか。
事務局	拡大候補地の名称については、愛知県と調整した上で設定した名称だが、まぎらわしいということであれば再検討する。
彦坂委員	P115の④について、赤羽根市街地での表現が他の市街地での表現と異なるのは何故か？
事務局	表現を統一するように修正する。
彦坂委員	P116の⑤について、居住誘導区域から除外した区域はないので、表現の仕方を修正した方が良い。
事務局	表現を修正する。
山崎委員	P98について、含める地域として500mとか鉄道駅からは1kmとか、何故距離が異なるのかの説明がほしい。 P110除外する区域を除外しての図について、P106やP107等の図を重ねてみれば、どこがどうして除外されるのかわかるのだが、どこをどうして除外となっているのかについて少し説明を入れた方がわかりやすいのではないかと。 P98について、全てが該当すると誘導区域に含めるのか、それとも1つでも該当すればよいのかについて説明を入れた方が良い。 P96②イについて、「なし」はおかしいのでは？土砂法ができたせいで、この辺りの指定地域はわかりにくくなっていると思う。
事務局	田原市では②イは「なし」であり、その代わりに③ウに「あり」となっている。
岡田委員	そのとおりで、田原市では②イは「なし」である。
事務局	追加説明等の表現については、県とも調整を図りながら検討したい。例えばP106の土砂災害の図では、矢印を入れて説明文を追加するなどしてわかりやす

	<p>く示すことを考えたい。</p> <p>距離の話は、国のハンドブックも踏まえて設定しているが、バス停は鉄道駅よりも利便性が低いこともあり、高齢者の徒歩圏 500m を採用している。</p>
岡田委員	P110 の居住誘導区域の図で、右上の白く抜けている部分はなにか？
事務局	<p>土砂災害に関する除外箇所である。</p> <p>P106 の土砂災害の図において、色合いや矢印等を使うなどして、工夫して土砂災害に関する情報をわかりやすくする修正を行っていきたい。</p>
会長	<p>P99 についてであるが、今後拡大する候補地の話をするのは、立地適性化計画にはなじまないのではないかと？ 今後も立地適性化計画は何度も見直しをして書き換えていくものであるから、その際に拡大の話をするればよいのではないかと。</p> <p>市街化区域が狭い等の田原市の特徴は十分理解しているが、拡大する話をするのは違和感がある。</p> <p>誘導区域や拡大候補地を記載する際は、どれだけの人口を受け入れられるかを検討するためにも、面積に関する数値を入れるべき。</p> <p>福江市街地の拡大候補地は、「沿岸の浸水被害想定区域は居住誘導区域に含められないので、そのためには拡大候補地が必要」といった話であれば、拡大する理屈は通るが。</p> <p>次回以降に人口に関する目標設定が出てくると思うが、現状でも田原市は 40 人/ha いない。何もしなければ都市機能を維持することはできないのに市街地を拡大する話は理屈が通らないし整合性がとれない。</p> <p>「④今後含めていく予定の区域」は、同時に誘導区域から切り取る区域がないと無理であろう。検討いただきたい。</p> <p>来週、山間地の飯田市で立地適性化の会議があるが、飯田市は人口 10 万人で田原市に近いが、田原市は豊橋市があるのに対して飯田市には周りに何も無い。飯田市の人口は飯田市の中心拠点に集まっていく傾向があり中間の拠点は素通りであり衰退していく。</p> <p>たぶん、田原市では何もしないと福江市街地ですら将来もたないと思う。田原市街地であっても、皆豊橋市へ行ってしまうため将来もたないかもしれない。だから田原市街地に都市機能をかなり集約しないとイケないのではないかと。</p>
事務局	検討する。
2 その他	
事務局	第 3 回策定委員会は、平成 31 年 1 月 22 日（火）14 時からの予定。
閉会挨拶	
会長	以上をもって第 2 回策定委員会を閉会する。

以上